

受検番号		氏名	
------	--	----	--

得点			
----	--	--	--

## 高等学校地理歴史(地理) 解答用紙(解答例)

その1

[1]

(1)	ア	ユニバーサル横メルカトル (UTM) 図法
	イ	国土地理院発行の地形図は、かつては多面体図法が用いられていたが、現在はユニバーサル横メルカトル (UTM) 図法が用いられている。この図法は、地球全体を $6^\circ$ の経度帯に分け、それぞれの経度帯ごとを円筒に投影するものである。1枚の地形図は、不等辺四辺形だが、経度帯内では同一面につながることができる。
(2)	求め方	等高線から、この地形図の縮尺は25000分の1 $9.0\text{cm} \times 25000 = 225000\text{cm} = 2250\text{m}$ A B間の標高差は、660m よって、斜角 $\theta = 660 \div 2250 = 0.2933 \dots$ <div style="text-align: right;">答 29.3%</div>
(3)		小倉付近は、天井川になっているところがある。谷は涸れ川で、普段は水が流れていない。
(4)	南小倉	河川、小倉谷がつくる扇状地の扇端部の湧水帯である。また、氾濫原より少し高いところに立地している。
	懐	氾濫原の中に形成された自然堤防上に立地している。
(5)	種類	断層運動
	理由	海拔100mの等高線がほぼ直線的であり、それより以西の等高線間隔が急に狭くなり、崖になっていることから断層線と判断できる。また、三角末端面があることから、尾根が断層により切断されたことを読み取ることができるので、断層運動となる。

[2]

(1)	ア	C f a	イ	C s	ウ	B S	エ	C f b	オ	A w
(2)	ア	d	イ	c	ウ	a	エ	e	オ	b
(3)		A wは、太陽の回帰にともない、夏は赤道低圧帯に覆われて雨季となり、冬は中緯度高圧帯の影響で乾季に入る。B Sは年間を通して乾燥しているが、A wと同じように太陽の回帰により、B Wの高緯度側では冬に高緯度低圧帯の影響を受けて降水があり、低緯度側では夏に赤道低圧帯の影響を受けて降水がある。気温は、A wの方が赤道に近いため、太陽の回帰の影響が少なく年間を通して高温であるが、B Sは太陽の回帰の影響が大きく、A wに比べて気温の年較差が大きい。								
(4)		C f aは、大陸東岸に分布し、夏は海洋からの季節風や熱帯低気圧の影響により高温湿潤、冬は大陸の高気圧からの寒波により寒さが厳しく乾燥する。C f bは、大陸西岸に分布し、年間を通して偏西風の影響を受け、夏は冷涼、冬は比較的温和となる。C f aに比べ、C f bの方が気温の年較差が小さくなる。								